



たいさんぼく

令和元年度 学校だより3月号
小平市立小平第十三小学校

[http://www.kodaira.ed.jp/
13kodaira/](http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/)

1年間、ありがとうございました

校長 早川 和男

暖冬と言われた今年の冬でしたが、少しずつ暖かい日が増え、春が近づいてきたことが感じられます。早いもので来週からは3月です。今年度も残すところあと1か月となりました。

先日、日頃からお世話になっている各ボランティアの皆様方にお集まりいただき、「感謝の集い集会」を行いました。子どもたちの学習の支援をしてくださる学習ボランティア、図書室の本の整理や修理をしてくださる図書ボランティア、登下校時の子どもたちの安全を見守ってくださるふれあいパトロール、季節に合わせてランチルームの飾りつけをしてくださるランチルームボランティア、芝生の手入れをしてくださる芝生サポーター、校内の花壇や植栽の手入れをしてくださるグリーンボランティア、など多岐にわたります。そして、放課後子ども教室やたんぼぼの会の皆様もお招きしました。代表の児童が感謝の言葉を言った後にみんなで『夢の世界を』の歌を合唱して感謝の気持ちを表しました。1年間を振り返りますと、それ以外にも各学年の学習や行事の際には多くの保護者の皆様にお手伝いをしていただきました。今年度は放課後に学習の補習を行う「チャレンジ教室」をスタートし、保護者の皆様や地域の方にお手伝いしていただきました。本校の子どもたちは実に多くの方々を支えられ、あたたかく見守っていただいていることを実感いたします。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



<感謝の集い集会>

さて、卒業式を間近に控えたこの時期は「お別れスポーツ大会」や「6年生を送る会」などの6年生の卒業に関わる一連の行事があります。卒業する6年生は、6年間の小学校生活で様々なことを学び、貴重な体験を積んできました。それらを下級生に引き継ぐ新旧交代の時期でもあります。それはちょうど「ゆずり葉」のようであると思います。ゆずり葉の木は、新しい葉が出てくると、古い葉が後をゆずるように落ちていくことからこの名がついています。学校で考えると、卒業していく6年生が様々なことを5年生以下の下級生に引き継いで卒業していくことと考えられるでしょう。6年生はこれまで十三小の良き先輩として、良きリーダーとして、学校行事やたてわり班活動などで下級生を温かく見守り、いろいろと教え牽引してくれました。卒業を前に自分が重ねてきた学びを振り返り、自分の成長を確かめるとともに十三小の伝統として、下級生に引き継いでいってほしいと思います。そして、下級生はそれを引き継ぎ、十三小の良き校風をさらに積み重ねていってほしいと思います。



<ゆずり葉>

最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ、学校経営協議会委員の皆様、学校支援ボランティアの皆様、放課後子ども教室の皆様、青少対の皆様、地域の町会自治会の皆様方、多くの方々はこの1年間、本校の教育活動に対しまして御協力をいただきました。皆様の御支援がありまして、本校の教育活動が推進できましたことを心より深く御礼申し上げます。

本校では国や都の方針を受け、新型コロナウイルスの感染防止対策として、予定していた学校行事や教育活動を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。